

## 令和5年度 第1回 地域福祉推進会議 議事要旨

令和5年7月10日  
午後6時30分～8時15分  
区役所5階3・4会議室

(敬称略)

出席委員：15名

欠席委員：8名

助言者：大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 鈴木准教授

事務局：区役所 貴志保健福祉課長、山村保健福祉課長代理、岡地保健福祉担当係長  
区社協 麻井事務局長、長谷川地域支援担当係長、長谷川大陽

### 1 あいさつ（委員長代理）

### 2 各部会からの報告——15分程度（各部会長より）

#### (1) 「ちょこっと♡助っ人ポイント」（令和5年3月15日～6月30日）

- ・部 会：2回（4月27日、6月12日）
- ・登録説明会：1回（4月20日） …4名登録
- ・登録者：29名、活動者：13名（継続中）、17名（1回以上参加）
- ・活動先：9施設（清掃・こども食堂での調理補助・エコキャップ洗浄等）
- ・ステキなもの：6月1日から「にしよどマーケット」で使用可能な「ちょこ助チケット」と交換開始。2名12枚交換済み。
- ・啓 発：きらりにしよど5月号・7月号への掲載
- ・課 題：1 活動者・活動先が増加しない→周知・啓発が必要  
2 チケット交換が少ない  
3 活動者同士・活動者と活動先との交流の機会がない
- ・その他：登録説明会の予定 7月27日  
部会の予定 8月3日

#### (2) 「となりのお節介さん」（令和5年3月15日～6月30日）

- ・部 会：1回（4月18日）
- ・認 定 会：1回（4月18日）
- ・認 定 者：15名、登録につながった方：10名
- ・インタビュー：3名（合計8名）
- ・啓 発：きらりにしよど5月号への掲載、ステキなお節介さんだより（号外）

の配布 など

- ・課 題：区民の認知度の低さ、申請者数の低迷
- ・そ の 他：部会及び認定会の予定 7月4日

(3)「ウエルカムバンクにしよど」(令和5年3月15日～7月3日)

- ・部会：2回(5月11日、7月3日)  
次回 8月31日(木) 18:30～
- ・「数珠つなぎインタビュー」  
1回(4月1日) インドネシアの方  
通算：34回 41名 10カ国  
(ベトナム、ブラジル、スリランカ、中国、ミャンマー、パキスタン、  
ネパール、バングラデッシュ、フィリッピン、インドネシア)
- ・「にほんごカフェ」 「あおぞらイコバ」で開催  
第3木曜日 18:00～20:30  
3月16日・・・1名(中国)、スタッフ5名  
4月20日・・・5名(ベトナム、日本)、スタッフ8名  
5月18日・・・0名、スタッフ5名  
6月15日・・・0名、スタッフ4名  
第4木曜日 13:00～15:30  
3月27日・・・1名(日本)、スタッフ2名  
4月24日・・・1名(日本)、スタッフ3名  
5月22日・・・0名、スタッフ3名  
6月19日・・・0名、スタッフ4名  
6月26日・・・1名(中国)、スタッフ2名
- ・啓 発：きらりにしよど5月号、8月号(予定)への掲載、
- ・今後の予定：  
・「数珠つなぎインタビュー」  
継続実施⇒区内の日本語学校(3校)へ協力要請  
・「にほんごカフェ」  
継続実施⇒9月から夜2回に(第1金曜日&第3木曜日)  
・交流会  
「<sup>はなび</sup>花火(HANABI)カフェ」(8月5日(土))  
「カラオケ」
- ・課 題：1 「にほんごカフェ」への来場者を増やす  
2 「交流会」を通じた日本の方との交流
- ・そ の 他：令和5年度「大阪市ボランティア活動振興基金」の「居場所づくり支

援」

助成金（250,000円）を交付決定。

### 3 各部会報告を受けての鈴木准教授のコメント

#### (1) 「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」

- ・ちょこ助チケットの流通を増やすためには、活動を理解してもらうことが重要。  
↳理解から普及へ移行することで活動者も増えるのではないか。
- ・営利的だが、普及させることで広告（周知）としてのメリットも持てる。
- ・活動が普及した際には、活動先・者のリストを作成して全体像を可視化する。

#### (2) 「となりのお節介さん」

- ・ビジュアルにインパクトがあり良い。
- ・おもしろい。
- ・福祉教育と絡めて、地域福祉活動実践者に授業していただくなどできれば、5年後など長期的な視点で福祉理解の促進を図ることができるのではないか。

#### (3) 「ウエルカムバンクにしよど」

- ・ふれあいの場所として良い。
- ・日本語学校との連携や交流会（花火・カラオケ）など、日本的なイベントに外国の方が参加してくれるのは良い。

#### (4) 全部会に向けて

- ・11月30日に開催される「あいあいプラン周知イベント」に向けて、イベントを知ってもらおうという視点だけではなく、イベントに向けて進むべき道をつくるということが重要である。

### 4 「西淀川ささえあい♡（あい）プラン」の評価について——15分程度

(委員長代理より)

- ・評価委員会の開催

5月15日

6月6日

6月22日

委員：5名

助言者：大阪成蹊短期大学 幼児教育科 鈴木准教授

- ・推進会議委員へのアンケート実施
- ・アンケート結果

## 5 グループ討議&発表——60分程度

### 【グループ討議】進行役

記録係

グループ1 (A委員) : (1) → (2) → (3) → (4) → (5)	山村課長代理
グループ2 (B委員) : (2) → (3) → (4) → (5) → (1)	岡地係長
グループ3 (C委員) : (3) → (4) → (5) → (1) → (2)	長谷川係長
グループ4 (D委員) : (4) → (5) → (1) → (2) → (1)	長谷川大陽

### 【発表】

4グループ×3分程度

## 6 総評

### 【鈴木准教授】

- (1) 地域福祉活動の「認知度が低い」ということには、2つの背景がある。

第1に、地域福祉では、あらゆる人（高齢者、児童、障がい者、社会的弱者等）と関わる機会が多い。その中では特定分野に突出した人材が多くなるため、全体的な内容を包含した地域福祉の認知度が低くなるのは、必然的なことである。

第2に、ささえあいあいプランを部会などの小項目ごとに周知して行くだけでなく、総体として周知することで、全体的な認知度につながっていく。そのため、そういった視点で今後望むことがよい。

- (2) ささえあいあいプラン 5つの基本目標のうち「②知り合う」の認知度が、最も高いことは喜ばしいことである。このことにより、地域住民はつながることができる機会が増加するため、地域福祉活動を展開していくうえで、意味のあることである。

- (3) 全体的に認知度・評価点が低いことに関しては、2つの背景がある。

第1に、地域福祉活動者が自身の活動に忸怩たる思いを持っているかもしれないということである。

第2に、評価者が関わりを持たない活動に関しては、評価など到底することができないという謙遜的な感情を抱いているかもしれないということである。

**【委員長代理】**

- (1) 今回の事業評価・達成状況を把握するにあたっては、たたき台がなかったため、一般の方へ見てもらうには向いていない。
- (2) 11月30日に、啓発イベントを行う予定であるため、そういった場において、地域へささえあい♡あいプランを周知していければよいのではないか。